

みどころ
いっぱい

おうぎのせんほくろく 扇ノ山北麓コース

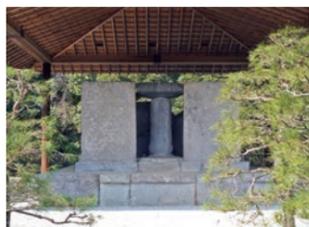
ドライブコース

1 因幡万葉歴史館



因幡万葉歴史館は、万葉の歌人大伴家持が国守として赴任し、万葉集を編纂したといわれるこの地に、平成6年に開設されました。万葉の文化や因幡の歴史、民俗芸能等がわかりやすく解説されています。開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）休館日／月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始 問い合わせ先／0857-26-1780

2 岡益石堂の森



岡益の丘陵地には、石堂と呼ばれる石造りの建築物があります。その中央にある石塔には、円柱の中央部が膨らんだ古代ギリシャの建築様式（エンタシス）が施され、中台の裏側には忍冬唐草文（パルメット）の浮き彫りが見られます。これらは、古代ギリシャからシルクロードを経て伝わったものです。ここは、現在安徳天皇御陵参考地とされています。

3 国史跡 梶山古墳



古墳時代後期（7世紀中頃）に築造されたと推定されている古墳です。昭和53年に玄室奥の壁に魚文や同心円文、三角文などの壁画が発見され、翌年に国史跡に指定されました。毎年10月頃、一般公開されます。

4 殿ダム



平成3年度から工事が始まって、平成23年度に完成した岩石などを積み上げてつくられたダムです。平成のピラミッドとも呼ばれています。このダムは、治水、工業用水、飲料水、河川保全、発電等に利用されています。また、ダム湖は因幡万葉湖と命名されました。

5 成器鉱山跡



かつて金を採掘した鉱山です。現在は採掘の際に鉱石を選別して残った屑がスリ場として残っており、水晶や金属鉱物などを採取することができます。ここで産出する水晶には「子持水晶」と呼ばれる水晶があり、大きな結晶の周りに小さな結晶が付着しています。

6 夫婦瀧



この瀧は、2つの流れを仲の良い夫婦に見立ててその名がつけられました。岩石は日本海が拡大した頃、その海底に堆積した泥などが固まってできた岩石です。上地周辺では、この地層から、貝やウニなどの化石が多く見つかっています。

7 菅野ミズゴケ湿原



標高400mに形成された湿原です。ここにはオオミズゴケが生育しており、県内ではめずらしく、昭和42年に県の天然記念物に指定されました。

8 雨滝エリア



扇ノ山山麓にある落差約40mの滝です。周辺は豊かな自然林に覆われており、四季を通じて見事な滝を見ることができます。また、雨滝周辺にも多くの滝があり、山の中腹から流れ出る地下水によってできた「布引の滝」や、扇ノ山の溶岩の規則正しい割れ目に沿って流れ落ちる「筥滝」などがあります。

9 河合谷高原



扇ノ山火山の噴火による溶岩流が、谷を埋めるように流れてできた台地状の高原です。現在、牧場として利用されています。

10 上山（上山高原）



上山は、扇ノ山をつくる小さな火山の一つで、噴火の際に飛び散ったマグマが冷えて固まった岩石が、火口の周辺に降り積もってできました。山全体や周囲の高原（上山高原）はススキで覆われており、手刈りや火入れ、牛の放牧などを行いながら、ススキ草原を後世に残す活動が行われています。

11 上山高原エコミュージアム



上山高原エコミュージアムは、上山高原や周辺地域を博物館に見立てて様々な活動を行い、地域の資源を活かし保全する取り組みです。上山高原ふるさと館はそのビジターセンターで、木工細工や草木染めなど、さまざまな体験することができます。開館時間／午前9時～午後5時 定休日／毎週火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始 入館料／無料 電話／0796-99-4600

12 おもしろ昆虫化石館



海上地区は昆虫化石の産地として知られており、おもしろ昆虫化石館はそこで産出した化石を展示している日本初の昆虫化石博物館です。開館時間／午前9時～午後5時 定休日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 料金／大人100円、子ども50円 電話／0796-93-0888

ジオコラム

1

扇ノ山火山群

扇ノ山火山は約120万年前から40万年前にかけて活動した、小さな火山の集合した火山群です。扇ノ山火山の活動は3期に分けられており、それぞれ安山岩や玄武岩質の溶岩を流しました。これらの溶岩が河合谷高原や上山高原などの平坦な地形を作っています。活動の後期には、火山噴出物が火口付近に降り積もり小さな高まりを作りました。兵庫県側の上山（946m）やジオパークのエリア外ですが、広留野の小丘（930m）がそれで、扇ノ山山頂の北側の稜線にある大ズッコ（1,309m）や小ズッコ（1,089m）と呼ばれる高まりも同様のものだと考えられています。



鳥取市から見た扇ノ山

ジオコラム

2

京ヶ原用水路

（鳥取市国府町上地）

鳥取市国府町の上地集落を過ぎ、さらに山の上に進むと京ヶ原（通称「空」）があります。ここは、標高約500m付近の急傾斜地で、小さな田んぼや畑が折り重なるように広がっています。これらの田畑に水をひいているのが京ヶ原用水路です。この用水路は、明治時代の先人たちによって掘られた長さ約4kmの用水路で、歴史的な土地改良施設です。現在は、地元の方々と大学生や一般のボランティアによる「棚田保全応援隊」の活動によって、用水路や棚田が守られています。



京ヶ原用水路



京ヶ原の棚田（通称「空」）

ジオコラム

3

化石が語る 大地の歴史

扇ノ山北麓周辺は化石の産地として知られています。鳥取県側ではたくさんの魚類化石が産出し、兵庫県側では多くの昆虫化石が産出しています。これらの化石の種類や地層を調べることで、浅い海であった時代や、湖があった時代があることがわかります。これらの化石は、「鳥取県立博物館」、「山陰海岸学習館」、「おもしろ昆虫化石館」で見ることができます。



トットリムカシギンボの化石（鳥取県立博物館）



マルハナバチの化石（おもしろ昆虫化石館）

クイズの答え

- ①殿ダムの高さは何mでしょうか。
答え：75m
- ②雨滝の滝開き祭で披露される、鳥取県の無形民俗文化財に指定されている踊りは何でしょうか？
答え：因幡の傘踊り

鳥取市国府町総合支所産業建設課
tel.0857-39-0560

鳥取市観光・ジオパーク推進課
tel.0857-30-8293

新温泉町商工観光課
tel.0796-82-5625